

国内経済要録

◇外国為替引当貸付の利子歩合変更

海外金利の変動に伴い、本行は連合王国通貨およびドイツ連邦共和国通貨表示の手形を引当とする外国為替引当貸付の利子歩合をそれぞれ次のとおり引き下げた。

(実施日) (改訂前) (改訂後)

○連合王国通貨表示手形引当貸付

11月9日 日歩1銭4厘 日歩1銭3厘
11月30日 日歩1銭3厘 日歩1銭2厘

○ドイツ連邦共和国通貨表示手形引当貸付

11月16日 日歩1銭4厘 日歩1銭1厘

◇輸入ユーザンス期間の延長

大蔵省は、為替自由化推進の趣旨から、輸入ユーザンス期間に関する制限を緩和することとし、制限期間を従来より1ヵ月延長して、船積書類本邦到着後4ヵ月以内とした。11月12日以降船積書類到着分から実施。

◇昭和35年度上期全国銀行決算状況

昭和35年度上期における全国銀行の経常純益は、746億円（前期比89億円、13.68%増）と、引続き好調であった。また経常収支率も81.07%と前期比0.49%の改善

をみた。これは預貸金の引き続き順調な伸び（預金8.65%、貸出8.84%）と貸出金利の上昇などによる利ざやの拡大（1毛1糸）によるものである。経常純益を業態別にみると、都市銀行が前期比14.55%増と、31年度下期（15.64%増）に次ぐ好調ぶりであったのに対し、地方銀行は前期比11.38%増と前期の増加（14.82%）に及ばなかった。

昭和35年度上期全国銀行業態別償却前利益ならびに経常純益

(単位・億円)

区 分		35年度 上 期	増 加 額		増 加 率	
			前期比	前期の 前々期 比	前期比	前期の 前々期 比
全国	経 常 純 益	746	89	85	13.68%	14.90%
	償却前利益	733	86	81	13.32	14.32
都 銀	経 常 純 益	377	47	39	14.55	13.49
	償却前利益	358	48	35	15.80	12.99
地 銀	経 常 純 益	258	26	29	11.38	14.82
	償却前利益	267	23	30	9.82	14.57

【参考】 国 民 所 得 (12月2日経済企画庁発表)

(単位・億円)

区 分	32 年 度	33 年 度	34 年 度	(33年度) 32年度	(34年度) 33年度
産 業 別 国 民 所 得	82,196	85,045	99,912	3.5%	17.5%
うち 第 1 次 産 業	15,320	15,612	16,567	1.9	6.1
第 2 次 産 業	27,663	27,739	34,524	0.3	24.5
第 3 次 産 業	39,600	42,045	49,210	6.2	17.0
分 配 国 民 所 得	82,196	85,045	99,912	3.5	17.5
うち 勤 勞 所 得	41,155	44,732	50,976	8.7	14.0
個 人 業 主 所 得	27,063	26,887	29,281	— 0.7	8.9
法 人 所 得	9,639	8,309	13,344	— 13.8	60.6
国 民 総 支 出	100,971	103,795	125,225	2.8	20.6
うち 個 人 消 費 支 出	59,695	62,982	68,367	5.5	8.6
民 間 総 資 本 形 成	23,652	18,825	32,941	— 20.4	75.0
(生産者耐久施設)	(16,782)	(16,367)	(21,669)	(— 2.5)	(32.4)
(在庫品増加)	(4,735)	(177)	(8,511)	(— 96.3)	(48.0倍)
政府の財貨・サービス購入	18,165	20,041	22,815	10.3	13.8
経 常 海 外 余 剰	— 541	1,947	1,100	—	— 43.5